



No. 0921

2009年9月14日

ZWシリーズに新機種追加 ホイールローダ ZW80・90発売

TCM(株)(社長 荒畑秀夫)では、日立建機(株)と共同で開発を続けているホイールローダ「ZWシリーズ」に、このたび新型2機種を追加し、10月1日から販売を開始します。

今回、発売するのは、ZW80(バケット容量0.9m³)、ZW90(同1.1m³)の2機種で、排ガス3次規制対応の高出力エンジンを搭載しパワフルな作業性を誇るほか、約10%の燃費低減を実現するe c oモードスイッチを新たに搭載しました。また、^{※1}HSTを電子制御化したことにより、油温に影響されない安定した加速性を誇ります。

ZW80・90は徹底的な市場調査により、お客様のニーズを反映して開発しました。この新機種投入により、農畜産業、除雪業、産廃業などの幅広い分野に、さらなる販売の拡大を図ってまいります。

<主な特長>

1. 作業性の向上

- (1) 高出力エンジン搭載でパワフルな作業性を発揮
- (2) ^{※1}HSTの電子制御化により、油温に影響されない安定した加速性を実現
- (3) 車両重心が車体の中央部に位置するように設計されており、優れた安定性を確保

2. 環境対応

- (1) e c oモードスイッチの採用により、燃費を約10%低減
- (2) オフロード法、国土交通省排出ガス対策型建設機械
- (3) 国土交通省超低騒音型建設機械指定 申請中 (ZW90は低騒音型建設機械 申請中)

3. 居住性の向上

- (1) 乗降口の左右にグラブハンドルと大型ステップを装備し、優れた乗降性を実現
- (2) サスペンションシートを標準装備し、快適な運転操作性を実現

4. メンテナンス性の向上

- (1) フルオープンボンネットとステップ付カウンタウエイトの採用で整備性を向上

5. 安全性の向上

- (1) キャブ(オプション)にはISO規格に合格した^{※2}ROPSおよび^{※3}FOPSを内蔵
- (2) シートベルトを全車標準装備

^{※1} HST(Hydro Static Transmission) : 油圧ポンプと油圧モーターを組み合わせた動力伝達装置

^{※2} ROPS(Roll-over Protective Structures) : 転倒時にシートベルトを装着したオペレータを保護する構造

^{※3} FOPS(Falling-object Protective Structures) : 落下物からオペレータを保護する構造

<目標販売台数> 300台/年 (OEM販売含む)

<主な仕様>

		ZW80	ZW90
バケット容量	m ³	0.9	1.1
運転質量	kg	4,895	6,005
定格出力	kW/rpm	45.6/2,200	53.1/2,400
最大けん引力	kN	42.2	48.9
最大掘起力(バケット)	kN	46.6	51.3
最高速度	km/h	34	32
全長	mm	5,120	5,490
全幅(バケット)	mm	1,990	2,350
全高	mm	2,790	2,990
ダンピングクリアランス	mm	2,500	2,705
ダンピングリーチ	mm	880	910
最小回転半径	mm	4,475	4,900
標準小売価格	千円	7,900	8,500

* 価格は竜ヶ崎工場裸渡し、消費税別



TCMホイールローダ ZW80

以上